各　位

2026 年 11 月 16 日

株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長　藤原　徳也
（コード番号　4343　東証プライム市場）

2027 年２月期　10 月度の売上概況

１．　国内業績

2027 年２月期　10 月度業績

国内：売上高 68 億 69 百万円、前年同期比 121.7%、既存店前年同期比 113.1%(曜日調整後 108.8%)

２．　セグメント別概況

１）国内

①2027 年２月期　売上高前年比・店舗数の状況(※速報値)　（単位：%、店舗）

区分	10 月度		当期累計（３月度～10 月度）		当期累計 店舗数		
	売上高 前年比	売上高 既存比	売上高 前年比	売上高 既存比	出店	閉店	全店
アミューズメント事業計	121.5	113.5	114.1	108.6	46	35	752
総合店	108.3	112.2	105.3	107.5	4	12	403
専門店	201.4	122.4	171.3	116.5	42	23	349
プレイグラウンド事業計	144.5	93.9	158.9	93.0	11	0	47
温浴事業計	150.5	106.0	147.2	108.3	1	0	3
その他事業計	59.3	43.3	85.9	85.8	0	0	9
国内計	121.7	113.1	115.4	108.2	58	35	811

※既存店売上高前年同期比に対する暦の影響は、平日が１日少なく、土曜日が１日多かったことから、4.0P 増となります
※その他事業の前年比については、前年同月の好調が影響しております

②2027 年２月期　売上高既存店前年比の状況　（単位：%）

区分	３月度	４月度	５月度	６月度	７月度	８月度	上半期計
曜日調整前	100.8	102.8	111.6	101.2	112.4	106.7	106.0
曜日調整後	105.4	104.1	102.3	106.5	110.7	110.1	106.7
曜日要因	△4.3	△1.2	+9.1	△5.0	+1.5	△3.1	△0.7
区分	９月度	10 月度	11 月度	12 月度	１月度	２月度	合計
曜日調整前	118.2	113.1					108.2
曜日調整後	113.3	108.8					107.7
曜日要因	+4.4	+4.0					+0.5

（参考情報）昨年の売上高既存店前年比（曜日調整後）
2025 年３月～2026 年２月　（単位：%）

区分	３月度	４月度	５月度	６月度	７月度	８月度	上半期計
既存店前年比	102.3	107.3	111.2	107.1	106.8	106.7	106.7
区分	９月度	10 月度	11 月度	12 月度	１月度	２月度	合計
既存店前年比	103.0	106.0	102.1	108.3	107.7	97.8	105.5

2）海外

①2027 年２月期　売上高既存店前年比の状況（※速報値）

（単位：%）

区分		3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	上半期計
	中国	108.2	110.6	90.4	76.3	72.5	85.5	87.2
	マレーシア	119.5	75.1	111.0	97.4	96.1	105.0	99.9
	タイ	96.5	96.8	102.0	91.6	99.6	82.3	94.6
	フィリピン	99.4	88.6	98.1	87.3	89.5	92.9	92.7
	インドネシア	149.4	66.0	104.5	99.1	99.1	110.3	101.3
	ベトナム	104.9	92.0	109.4	108.3	103.1	107.2	104.5
海外計		114.0	82.9	103.6	92.7	91.0	97.5	96.5
区分		9月度	10 月度	11 月度	12 月度	1月度	2月度	合計
	中国	64.6	52.0					81.3
	マレーシア	89.3	98.5					98.3
	タイ	87.3	103.2					95.0
	フィリピン	109.9	104.6					96.0
	インドネシア	93.5	104.0					100.7
	ベトナム	103.8	106.9					104.7
海外計		91.6	95.1					95.8

※10 月度の中国除く海外事業の既存店売上高前年比は 102.0%となりました。中国事業では店舗閉鎖を進めており、10 月度は 12 店舗を閉店しました。

（参考情報）2026 年２月期 月次売上高の既存比

（単位：%）

区分		3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	上半期計
	中国	80.7	74.9	91.1	98.5	103.1	96.1	91.5
	マレーシア	90.9	116.6	89.3	94.4	92.2	95.4	96.3
	タイ	93.3	88.1	92.5	88.2	99.8	110.5	95.3
	フィリピン	108.6	117.6	109.0	77.0	84.1	113.9	100.1
	インドネシア	83.0	96.5	85.4	82.3	82.7	84.9	86.9
	ベトナム	99.0	87.5	122.0	93.6	102.1	97.5	98.2
海外計		83.7	99.6	95.2	89.8	93.8	99.2	94.8
区分		9月度	10 月度	11 月度	12 月度	1月度	2月度	合計
	中国	109.7	107.0	94.6	86.2	109.8	102.9	95.3
	マレーシア	93.1	92.0	97.1	99.6	83.3	75.8	93.5
	タイ	93.4	87.2	100.1	84.8	97.6	87.7	93.2
	フィリピン	98.7	98.0	95.2	99.7	96.9	107.2	99.6
	インドネシア	79.7	89.5	89.6	95.3	96.7	98.6	89.1
	ベトナム	101.4	87.4	83.7	91.8	109.3	104.5	97.6
海外計		95.9	95.3	94.4	95.6	94.8	93.0	94.9

３．今月のトピックス

【国内】

・新業態「クレーン横丁 極」、初のイオン上層階への出店。売上高は計画を大きく超える推移

10 月 7 日、愛知県春日井市のイオン春日井ショッピングセンター４階に「クレーン横丁 極 春日井店」をオープンしました。同業態として初となるイオンの上層階区画への出店となりましたが、今まで出店していたロードサイド店舗と同じく、オープン後の売上高は計画を大幅に上回って推移しております。今後も立地特性や収益性を見極めながら出店拡大を進めてまいります。

また、中期経営計画において成長領域と位置付けるプレイグラウンド業態についても、「ちきゅうのにわ盛岡店」「のびっこジャンボ新発田店」の２店舗を出店いたしました。

・国内好調要因：プライズ部門の続伸、カード部門「アイカツ！アンコール」がヒット

10 月度は前月度に引き続き『ちいかわ』などの人気 IP 関連景品が好調に推移し、プライズ部門の売上高を牽引しました。また、10 月 8 日より稼働を開始したデータカードダス『アイカツ！アンコール』をモーリーファンタジー全店舗に導入しました。本機種は歴代の人気キャラクターを採用し、10 代から 30 代前半の女性を含む幅広い世代から支持を集め、好調となりました。人気 IP を活用した新機種の導入により、カード部門の売上高の伸長に寄与するとともに、従来とは異なる客層への訴求にもつながりました。

・サステナビリティ：「こども車いす」の社会認知拡大に向けた取り組みが「プレスリリースアワード 2026」にて『ヒューマン賞』を受賞

当社は、当社従業員の実体験から、外見がベビーカーに似ていることから誤認されやすい「こども車いす」への理解を広げるため「ララちゃんのこども車いすマークホルダー」を無償配布し、社会的な認知向上を図ってまいりました。2026 年 7 月に発信したこの取り組みについてのプレスリリースが、株式会社 PR TIMES 主催の「プレスリリースアワード 2026」においてエントリー総数 4,236 件の中から『ヒューマン賞』を受賞しました。今回の受賞を機に、2026 年 10 月 29 日～12 月 31 日まで第３弾となるマークホルダーの追加無償配布を開始しております。今後も、障がいの有無にかかわらず、すべてのこどもたちが安心して外出し、遊びを楽しめる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【海外】

・イオンファンタジーベトナムで３業態同時出店を含む５店舗出店。タインホア省へ初進出

イオンファンタジーベトナムは、10 月 18 日に開業した「イオンモール タインホア」にプレイグラウンド「KID'S BOX」（キッズボックス）、「kidzooona」（キッズーナ）、アミューズメント施設「Tiny Mollyfantasy」（タイニーモーリーファンタジー）の３業態を同時に出店し、タインホア省へ初進出しました。「KID'S BOX」には、日本の街並みを再現した JAPAN バージョンの内装を採用し、和カフェ「茶の輪」を併設するなど、子どもだけでなく保護者も楽しめる施設づくりを進めています。同店舗を含め 10 月度は合計 5 店舗を出店しました。今後もイオングループの商業施設展開と連携し、地域の特性や顧客層に応じた複数業態の同時出店を進め、ベトナムにおける店舗網の拡大を図ってまいります。